

学校教育目標

未来を切り拓く子どもたちを育てます

- ・自らねばり強く学び、生きる力 (知・体)
- ・互いの違いを認めあい、思いやる心 (徳)
- ・多様性を尊重し、グローバルな視点をもつ力 (公・開)

学校概要	創立 76 周年	学校長 相澤 順	副校長 西田 貴雄	3 学期制	一般学級: 19	個別支援学級: 4
	児童生徒数: 690 人	主な関係校: 岡津小学校・上矢部小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岡津中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>【自分づくりに関する力】 【持続可能な社会の創造に貢献する力】</p>	岡津小 上矢部小	<p>主体的に自分の想いを表現していく子ども</p> <p>○授業研究等を実施し、各教科・領域で「9年間で育てる子ども像」を見直し、指導内容・指導方法を推進 ○児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施 ○生徒会による中学校説明会や運動会等へのボランティア活動、部活動体験等、積極的な児童・生徒交流を実施</p>

中期取組目標

- 全教職員で同じベクトルの下、未来を切り拓く生徒の育成に取り組みます。
- ・個に応じた指導を充実させるとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びに向けた授業を目指す。
- ・挨拶を大切に、自尊感情・自己肯定感を高め、互いの違いを認め合う人間尊重の精神を育てる。
- ・心と体を一体としてとらえ、学校生活や生涯を通して積極的に運動に親しむ資質や能力を育てる。
- ・社会的視野を広げ、社会の一員としての自覚と責任を高めるとともに郷土愛を育てる。
- ・小中一貫教育を推進するとともに地域や家庭、関係機関との連携を深め、地域に根付いた、開かれた学校を目指す。

重点取組分野	具体的取組
<p>知 学習指導の充実</p> <p>担当 学習指導部</p>	<p>①校内授業研や小中一貫ブロック授業研を通して研修を深め、生徒自らが問いを見だし解決していく授業を目指した授業改善を行う。②分析チャートや生徒・保護者による授業評価を活用して授業を見直し、生徒のねばり強い取組や自己の学習の調整を促す。</p>
<p>徳 豊かな心</p> <p>担当 学習指導部</p>	<p>①横浜子ども会議のテーマを基に生徒会による「あいさつ運動」をさらに浸透させるとともに、確かな人権感覚・意識の向上を図るために全校で人権作文・人権週間における活動に取り組む。②体験学習や地域行事を通して思いやる心や公共心を育成し、社会の一員としての自覚を高める。</p>
<p>体 健やかな体</p> <p>担当 保健体育科・保健安全指導部</p>	<p>①新体力テストの結果を基に、生徒一人ひとりが目標を設定し、体力の向上を図る。 ②健康手帳を活用して、体力テストの結果や身体計測の記録等を共有し、自らの心と体を健やかに育み、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。</p>
<p>公開 キャリア教育</p> <p>担当 学習・特活指導部</p>	<p>①実生活や実社会と自分との関りや人との出会い、人から学ぶことを大切にしながら、「自分づくり教育(キャリア教育)」を推進する。②職業講話、職場体験、進路学習を通して自己の生き方を具体的、現実的なものとして考える態度と、多様性を尊重する姿勢、グローバルな視点をもつ力を育てる。</p>
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 学校いじめ防止対策委員会</p>	<p>①通年での研修を通して、全教職員のいじめに対する感度を高くすることで未然防止に努める。②生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより早期発見・対応体制をつくる。③月1回以上、いじめ防止対策委員会を開催し、経過確認をていねいに行うことで、再発防止に努める。</p>
<p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>担当 情報・研修部</p>	<p>①OJTやミドルリーダーによるメンター研修等を実施し、経験の浅い職員の育成を図る。②校内研修や小中一貫ブロック授業研等を実施するとともに、打合せ等でも適宜情報を共有し、教師力の向上を目指す。③情報機器等を適切に運用し、機能的・効果的な学校運営を目指す。</p>
<p>生徒指導</p> <p>担当 生活指導部・専任</p>	<p>①YPアセスメント・生活アンケート等を活用し、生徒理解に努めることや教育相談を充実させる。②問題行動の未然防止のため、生徒の規範意識を高め、生徒の主体的な活動を支援する。③保護者・地域・関係機関と連携するとともに職員間の報告・連絡・相談を密にし、問題の早期発見・対応・再発防止に取り組む。</p>
<p>特別支援教育</p> <p>担当 特別支援教育委員会</p>	<p>①特別支援教育委員会で支援を要する生徒に関する理解を深めるとともに職員間で共有し、支援・指導計画による適切な支援を行う。②ユニバーサルデザインの視点を踏まえ学びの場の充実を図る。③特別支援教室(校内ハートフルルーム)の充実により多様な学びの場を提供するとともに、SCや外部関係機関と連携を図る。</p>
<p>地域連携</p> <p>担当 代表連絡会・専任</p>	<p>①学校運営協議会の発足にあたり、地域の声を尊重し、開かれた学校づくりを目指す。②祭礼や防災訓練をはじめとする地域行事に積極的に参加する。③また、PTA校外委員を中心とした地区懇談会、学校地域家庭連携事業実行委員会も活用し、円滑な地域連携を図っていく。</p>
<p>担当</p>	